



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



令和6年2月1日号
発行

自民党

神奈川1区支部
発行責任者
平木 茂

2月号
2024年

No.251

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>

ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp

激甚災害から「いのち」の危機を防ぐ

「能登半島地震」への支援 一刻も早く元の生活に戻るために

令和6年1月1日16時10分ごろ、石川県能登地方を中心にM7.6の地震が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方やそのご家族にお悔やみを申し上げます。

松本純は安倍政権で防災担当大臣を約一年間務めました。任期中には今回のような地震は起きませんでした。就任4ヶ月前に発生した熊本地震（平成28年4月14日発生）が甚大な被害をもたらした反省から、皆様に安心していただけるよう更なる災害対応の構築を進めました。



▲熊本地震（平成28年）では被災地を訪ね、災害被害の対策に取り組みました

今回の災害では、発災直後の16時11分には官邸の危機管理センターに対策室が設置され、同15分に総理が関係省庁に対応を指示、同30分に自衛隊に初動対応部隊が設置されました。そして同45分には、石川県による自衛隊災害派遣要請が出されました。すでに自衛隊は偵察機などによる現場の確認作業に入っていました。しかし発災時間が夕方であり、夜間の確認作業は困難を極めました。そして、翌朝9時23分には非常災害対策本部が設置され、10時40分には、自衛隊が統合任務部隊（10000人規模）を発足させました。

この人数は、被災地の状況を見据えたもので、半島という地形と陸の孤島になってしまった交通網を配慮したものです。能登半島は最大4メートル隆起し、海岸線も最大250メートル沖合に移動しており、海岸線沿いの道は使用不能、港湾も日本海側は使えない状態で、海からのアクセスも困難を極めました。このため、自衛隊は輪島港では揚陸艦（大型ホーバー）で避難物資の搬入を行いました。また、交通アクセスの整理と復旧の迅速化のために、道と港を国が直接管理することとしました。

《プッシュ型支援》

過去の災害の反省から、国は日頃からの業界団体等との連携と、物資の搬入の支援体制を構築しています。今回の災害においてもコンビニ各社、製パン業者、被災地以外の自治体などの備蓄物資を自衛隊が協力する形で輸送しました。

《みなし避難所、みなし仮設》

今回、即時に一次避難所を設置し、仮設が決まるまでの二次避難所を設けました。また、二次避難所を決める1.5次避難所も早期に設置し、被災者の安全を最大限守る努力をしています。また、被災地が過疎地域であり、独居世帯や高齢者も多いことなどから、高齢者施設などを借り上げる形での恒久的なみなし仮設や、ホテルや施設などを使ったみなし仮設も設置することになりました。

これらの仕組みの多くは以前からあったものですが、松本純が防災担当大臣時代に拡充や改善を行ったものも多く、これからも防災担当大臣経験者として、更なる改善を求めてゆきたいと考えます。

【2024年1月】

松本純の活動記録

- 5日 ● 令和6年金沢区賀詞交歓会
● 令和6年磯子区新年賀詞交歓会
● 令和6年中区賀詞交歓会
- 8日 ● 防衛諸団体合同賀詞交歓会
- 9日 ● 神奈川県自動車整備関係団体新年賀詞交歓会
● イセザキ・モール、マリナード地下街合同賀詞交歓会
- 10日 ● 神奈川県釣船業協同組合新年会

- 12日 ● 神奈川県薬業団体新年賀詞交歓会
- 14日 ● 神奈川県ふぐ協会新年賀詞交歓会
- 15日 ● 2024年横浜金沢文化協会新年会
- 18日 ● 神奈川県土地家屋調査士会・政治連盟新春賀詞交歓会
- 21日 ● 金澤八幡神社神輿保存会寺前睦新年会
● 神輿保存会京濱連合新年会
● 県歯科技工士・技土工連盟・技工業協同組合合同新年会



1/1 末吉3・4丁目元旦国旗掲揚式 ● 国旗掲揚塔は昭和39年7月に東京オリンピック開催記念に設置されたもの。小山哲夫町内会長や町内の皆様と新年の挨拶を交わし、令和6年が良き年となるよう祈念しました。



1/5 根岸橋通商和会新年会 ● 堤幸雄会長から「元日から地震や事故が発生していますが、これらを乗り越え良い一年に」との挨拶がなされ、松本純も「元気に頑張りましょう」と4年ぶりの祝辞を送りました。



1/6 西大道町内会2024賀詞交歓会 ● 松本純は飯塚久典会長や町内会の発展を祈念しつつ、年頭に発生した震災、航空機事故等への消防団の活躍に触れ、消防ポンプ車（水槽車）の必要性等をお伝えしました。



1/7 野毛2丁目役員初詣 ● 伊勢山皇大神宮での役員初詣に、今年成人を迎える地元の若者二人が参加。神事では町内の安全を祈願し玉串を奉奠し、お二人の前途が希望溢れるものにとお祈りを申し上げました。



1/10 神奈川県臨床検査技師会賀詞交歓会 ● 芹澤昭彦会長は「昨年度、当会が神奈川県で主催した学会に1270名の参加をいただいた」と報告され、「今年は災害対策をより進めて参ります」と抱負を語りました。



1/11 協同組合元町SS会令和6年新年賀詞交歓会 ● 「今年は元町を稼げる街へと変えていくために取り組む」との宝田博士理事長の決意に、松本純は「大きな目標が実現することを祈念します」とエールを送りました。

自民党神奈川1区支部大会及び松本純後援会総会

松本純の活動報告や政党支部と後援会の収支報告を行います。ご出席を賜りますようご案内申し上げます。

- 日時 令和6年3月4日(月)午後6時30分開会
- 場所 ロイヤルホールヨコハマ
横浜市中区山下町90 電話045-641-1122
- 会費 5,000円
- 問合せ 松本純事務所 電話045-241-7800

いま地域で (ひと・まち・出来事)

能登半島地震への支援活動を進めています
募金活動、薬剤師仲間たちの現地への派遣など

能登半島地震で辛い思いをされている皆さんのため少しでも力になりたいと、自民党神奈川1区支部の県市議員と一緒に募金活動を行っています。

願いをしながら常に頭にあるのは、防災担当大臣の職にあった時に安倍総理から言われた「一刻も早く、出来ることは全てやれ」という言葉です。

当時、鳥取県中部地震や糸魚川市大規模火災、九州北部豪雨をはじめ、多くの災害対応に大変な緊張感をもって懸命に取り組みました。能登半島地震にあたって「出来ることを、出来る人が、出来る時に」を合言葉に、今後も活動を続けてまいります。お預かりした募金は自民党神奈川県連で取りまとめ、被災された4県の県連を通じて被災地の救援・復興支援等に役立てていただきます。 神奈川1区支部の中区・磯子区・金沢区各支部合計金額



1/24現在で289,580円を県連に届けました

また薬剤師の仲間たちも現地で力を尽くしています。横浜市、横浜市薬剤師会、横浜薬科大学が共同運用するモバイルファーマシー（災害対策医薬品供給車両）が能登町に派遣されました。今回が初めての出勤になり、災害処方箋の調剤の他、避難所の感染制御対策、服薬指導などを行います。現地の医療チーム、各地の薬剤師会と連携しながら、災害時の医療の担い手として大いに活躍し、被災地からも感謝されています。

今なお余震が発生し、2次災害で被害が広がっている地域もあります。避難所での生活が長引いて、不安な日々が続いていることでしょう。被災地に心を寄せながら、皆さんが一日も早く日常を取り戻せるよう、物心両面で支援を続けてまいります。（純）